

2025 年 05 月 19 日

2年間辛かった目まい、その後

姿勢と不調症状改善の地域サポートセンター姿勢カイロ・オフィス院長の辻内正昭です。姿勢矯正士です。一流の治療家を目指し奮闘の日々です。

今回は4月26日のブログ「2年間辛かった目まい」で紹介した U さんの経過報告となる。

約2年間辛かった目まい：shiseikairooffice の blog さて、昨日5月18日、U さんが約1ヶ月ぶりに来院。

第一声は「目まいの薬を飲まない日が長く続いています。こんなことはこれまでに無かったことでビックリしています。嬉しいです。ただ、4月20日の施術後でも仕事に行く日は不安感から時々薬を飲み出勤したのですが目まいは起こりませんでした。連休に入り5月3日～11日迄は思い切って薬を飲まないでおこうと決心し過ごしましたがめまいは全く起こらず快適に過ごすことが出来ました。その後12日、13日の両日は睡眠不足で体調が良くなかったので目まいが起きてはいけないとの念のため薬をのんで出勤しましたが目まいは起こりませんでした。その後は今日まで薬に頼らずに過ごせていてすごく嬉しいです！」これは私がある程度予想していた期待通りの報告だった。それではもっと良い状態にと気合いが入る。施術開始前に U さんの目まいのメカニズムは姿勢由来との推論を再度説明し施術を開始。施術後は「すごく体が軽い！あれだけ手放せなかった薬に頼らない生活は嬉しい。」と大変喜んでいただけた。現在、私の考えている目まいの改善理論は功を奏し、姿勢も改善したように思われる。(姿勢改善の推移を紹介します。)

(3月22日 と 4月6日)



(4月20日 と 5月18日)



本例の通り、姿勢由来の目まいの改善には私の理論とテクニックは効果があり、その他ストレス性、寝不足など多彩な要因を主訴とする場合でも有効であると思っている。

脳の病気など他の重篤な病気由来と思われる目まいは私たちが介入すべきではなく、速やかに病院に紹介しなければならないのは当然のことである。

したがって正確且つ的確な判別能力の学習や研究も必要となる。